

< 議論の経過 >

開催日	会議名	主な議題	頁数
8月21日 (前回)	第5回浅草地区まちづくりビジョン 策定委員会	(1) ビジョンの構成検討について	p2
9月30日	第6回浅草地区まちづくりビジョン 基盤整備部会	(1) ビジョンの素案について (2) 東武浅草駅周辺都市整備の検討経緯について	p8
1月14日	第7回浅草地区まちづくりビジョン まちづくり部会	(1) ビジョン策定のスケジュールについて (2) ビジョンの素案について (3) 基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について	p14
3月11日	第7回浅草地区まちづくりビジョン 基盤整備部会	(1) ビジョン策定のスケジュールについて (2) 回遊性向上に関する検討について (3) ビジョンの素案について (4) ビジョン策定後の検討体制（案）について	p22

■第5回 策定委員会

■開催日時

- ・令和6年8月21日（水） 10：00～

■実施内容

- ・下記について、意見交換を実施。
 - ⇒ビジョンの構成検討について

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

1. 第5回策定委員会での意見

(1) ビジョンの構成検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
ビジョン全体	「みんなでこれやっていこうね」という、メリハリがあるような、言葉づかいも含めて伝わりやすさが必要という話だと思う。 - どうしても「観光寄り」になってしまう。住民の方も結構いらっしゃるので、どんな人が住んでいて、どんな産業が立地してるのか、という視点が少し欠けているのではないかと思います。 - 必ずしも「観光寄り」ではなく、しっかりと浅草の産業を作っていくということも当然あるので、やっぱり本質的なものを文化や産業として育てていく、ということをもっと大事にした方がいい。	⇒<u>表現・メリハリに配慮した伝え方に留意</u>します。 ⇒住民に関する記載については、<u>引き続き、内容の充実を検討</u>していきます。 ⇒文化や産業に関する記載については、<u>引き続き、内容の充実を検討</u>していきます。
プロローグ	「ビジョンコンセプトストーリー」を最初に出して、読み手にイメージしてもらうのは非常にいい考え。 - プロローグで浅草の歴史に触れられるが、浅草の歴史って、良いときもあれば悪いときもあった。そういった、「当時の人たちが歴史を作ってきた」という内容を、何かぜひ書いていただきたい。	⇒「ビジョンコンセプトストーリー」の案を今回提示いたしました。<u>ビジョンの最初に出す方向でまとめていきます</u>。 ⇒<u>浅草の歴史は、1章に移動</u>しました。当時の人たちが歴史を作ってきたという内容を意識して、「<u>地域主体によるまちの発展</u>」というサブタイトルを追加しています。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

1. 第5回策定委員会での意見 (1) ビジョンの構成検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
2章 世界の浅草	- 外との関係についての記載は少し弱いと思う。浅草の中だけうまくやっていけばすぐ話ではなく、東京の中で浅草がどういう役割を果たせるのか、という内容を書き込めると、東京都や国からの支援もいただける、ということになる。 - 外側のまちとの関係。墨田区とは結構繋がってきているが、一方で上野との連携みたいなものもやはりきちんと意識して、浅草ビジョンとしてまとめた方が良い。	⇒ <u>外との関係性について、p8に浅草地区の広域的な位置関係を追加</u>しています。また、浅草周辺の東京の街の変化を把握した上で、<u>東京における浅草の位置づけを記載できるよう、引き続き、検討</u>していきます。 ⇒ <u>上野とのつながりに関する記載は、「ビジョンの対象エリア（資料3：p8）」のところで追記</u>しました。
3章 取組みの方向性	Ⅲ章で「まちのありたい姿」のところで、いくつかのキーワードをイメージできるような絵で示してはどうか。 - コンセプトで使ったキーワードは戦略の中では使わない、というような見せ方も重要かと思った。 - 言葉の問題はいろいろ工夫がなされるかと思うが、その辺りはこれから検討の余地があるかと思う。 - 例えば「下町を感じさせる」というのは一体何なんだろう。もう少しブレイクダウンしていかないと、「言っているだけ」になる。 - 大きなビジョンと小さなアクションの両輪でやっていかないと、多分物事は変わっていかないとと思うので、今この大きな話をプレスするという段階だと思うが、それに紐づいて段階的に何ができるのかというのを、ぜひ残りも書いてご議論いただくといい。	⇒ Ⅲ章において、プロジェクトアイデアの要素を反映した将来像を実現したまちのイメージを掲載予定です。 ⇒ <u>コンセプトで使ったキーワードは戦略では使わないように表現を見直し</u>しました。 ⇒ <u>表現・メリハリに配慮した伝え方に留意</u>します。 ⇒ 表現が具体的にどのようなニュアンスを指すのか、<u>引き続き、検討</u>していきます。 ⇒ <u>主要プロジェクトと戦略の関係性（表し方）に留意</u>する。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

1. 第5回策定委員会での意見

(1) ビジョンの構成検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
3章 取組みの 方向性	- 浅草はかなり建物が老朽化していて、向こう10年・15年で、建物の更新が相当あるような気がする。だから新しいものを作る一方で、自然に変わっていくものに対してどうコントロールしていくのかということが、非常に重要。 - だんだんとマンションが入ってきた。マンションが建つと、そこに住んでいる人たちは街との接点が全くない。例えば1階の部分は、お店やお休み処等のようなもので、開かれた空間を、例えば行政側からこういった条例がありますよ、という形で、マンションの許可が下りていけば、もう少し良くなるのかなとすごく思う。	⇒ Ⅲ章の戦略のプロジェクトアイデアに、「まちなみの維持に必要な建替えルールづくり」を記載しました。建替えルールづくりに向けては、<u>地域と会話を重ねながら、今後検討</u>していきたいと思います。 ⇒ (同上)

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

1. 第5回策定委員会での意見 (1) ビジョンの構成検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
3章 取組みの 方向性	- 銀座線のホームを通り抜けするには一区間のお金を払わないといけない。もし銀座線のホームを通路として許可してもらえれば、浅草に来た人たちの苦勞が報われるのではないかと。 - 浅草寺は、開創1400年となる令和10年（2028）に向けて準備を行っている。ご本尊の御示現1400年を寿ぐ、記念開帳を実施する予定。それまでに、現在修理中である国名勝の「伝法院庭園」と、国重要文化財の建造物「本坊 浅草寺伝法院」について、しっかりと整備し、記念開帳の折には特別拝観を行うことを予定している。 - 開創1400年の記念事業として進めている計画として、収蔵庫・宝物館の建設がある	⇒鉄道駅の連携の可能性については、今後の基盤整備部会の中で意見交換をしていきたいと思います。 ⇒「ご本尊の御示現1400年を寿ぐ、記念開帳」に関わる事業については、<u>ビジョンへの記載を検討</u>します。 ⇒（同上）
4章 ビジョンの 実現に向けて	IV章の「ビジョンの実現に向けて」という、短期・中期・長期の取組内容をより具体的に書いていくと、さらにはっきりすると思う	⇒長期につながっていく取組として、<u>震災復興100周年頃の節目である2031年頃までの短期・中期を中心に、引き続き、内容を検討</u>していきます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

1. 第5回策定委員会での意見

(1) ビジョンの構成検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
その他	- 浅草ビジョンは、浅草スタイルで何か一旦まちの姿は考えて、節目ごとに何をやるかというのを同時に、ビジョンを作った後も続けてアクションとして動かしていく。そして、チェックしてフォローアップして、改善していく。そういったことを、何かうまく全体像がわかるように、やれるといい。 - ビジョン自体がマスタープラン的というか総花的で、色んなものを盛り込んだものになっている。もう少し強弱をつけて、何が大事なのかというところを、わかりやすくまとめていただきたい。 - ビジョンはビジョンなので、あまり細かいことということよりも、今回目標としている2040年ぐらいに、最終的にどういう姿を見せるのかというところを、端的に書くべき。	⇒<u>震災復興100周年頃の節目である2031年頃までの短期・中期を中心に、節目を意識した記載を充実</u>していきます。 今回、ビジョン策定後のアクションについては、基盤整備部会をベースとした検討体制（案）を提案いたしました。引き続き、ビジョン策定後の準備を進めてまいります。 ⇒<u>表現・メリハリに配慮した伝え方に留意</u>します。 また、p9に「ビジョンで大切にしたい視点」を追加しました。引き続き、内容の充実を検討していきます。 ⇒ビジョンの構成については、バックカスティングの視点を意識して、<u>浅草地区の未来の姿（夢見る姿）を先に提示したうえで、そのためにどのような取り組みを積み上げていくか、という順序に再編</u>しました。台東区政100周年頃の2047年頃の浅草の姿は、図やイラスト等を用いて、分かりやすく表現するように、引き続き、検討していきます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

■第6回 基盤整備部会

■開催日時

- ・令和6年9月30日（月） 15：30～

■実施内容

- ・下記2点について、意見交換を実施。
 - ⇒ビジョンの素案について
 - ⇒浅草駅周辺都市整備の検討経緯について

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

2. 第6回基盤整備部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
ビジョン全体	ビジョンは、もっと積極的に関係者の皆さんが共感できる、関係者が同じ方向を見れる、 積極的な共感が必要 な気がしている。ビジョンの実現に向けて、というところにコメントがあるが、 あまりワクワク感がない 。戦略はあるが、最終的に未来の浅草をこんな町にみんなでしていこう、こんな町というところの形、機能、使い方というのが、もっと具体的に示された方が良い気がする。そもそもビジョンなので、 確実に実現しなくても目指すべきものであれば良いような気がする 。 もっと夢が持てるような形にしたい と思う。	⇒ビジョンの構成において、「課題解決型」の順序ではなく、バックカスティングの視点を意識して、 <u>浅草地区の未来の姿（夢見る姿）を先に提示したうえで、そのためにどのような取り組みを積み上げていくか、という順序に再編</u> しました。
ビジョン コンセプト ストーリー	プロローグにあるストーリーの部分について、主語の部分の疑問がある。20年後から語るという部分が、こうなったら良いよね、という目標ではなく、こうなったというように決めつけて見えてしまうという部分で、違和感がある。ダイバーシティ＆インクルージョンという、台東区の得意な視点も持ちながら、ストーリーの主人公を特定する。例えば、これは決まりではなく、 選択肢であるというように見せ方を模索する ということはある。	⇒ <u>引き続き、精査</u> を続けます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

2. 第6回基盤整備部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
1章 はじめに	■ビジョンの対象エリア 対象エリアにおける動線や連続性のイメージ図は、 もっと広い視点・エリア で、例えば羽田との関係性とか、外側にあるところとの関係性みたいなものも、舟運の話をしていくのであれば重要。 もう少し広域化 できないか。	⇒「ビジョンの対象エリア（資料3 :p8）の説明の中で、 <u>広域的な視点からの関係性の説明を追加</u> しました。
2章 世界の浅草	■まちづくりのコンセプト - まちの人々から聞いた浅草、つまり浅草の将来像をしっかりと共通の目標として出したうえで、それを実現するためのコンセプトであるというように、コンセプトストーリー（3ページの内容）と合わせていく必要がある。浅草に来る観光客をエリアの中で広く分散させたり、展開させたいという目論見があるので、その目論見を隠しながら将来像に盛り込んでいくべきではないか。 - 基盤の再整備を打ち出しているが、大きく改変・改善していくという理屈付けの部分が、このビジョンでしっかりと謳えないかと感じた。基本的には、歩行者動線、歩行者空間が不足している。防災の視点からも、人を大きくどこかへ逃がしていくという際に、今のままの基盤では駄目なのではないか、といった課題がある。重層的に空間を作っていくところの考え方、駅の機能更新や老朽化が進むところを大きくどのような手法を使って、どうやっていくのかなど、いろいろな整理が必要。	⇒コンセプトストーリーとの整合は引き続き精査していきます。<u>「エリアの中で広く分散させたり展開させたい」という点は、上記の回遊の概念の説明の中で、内容を拡充</u>させました。 ⇒今後の基盤整備検討とあわせ、<u>引き続き、まちの改変や改善に関する説明を整理・拡充していくことを検討</u>します。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

2. 第6回基盤整備部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
3章 取組みの 方向性	「快適性を磨き上げる」の戦略3は、あまり議論をしたとは思えない。これから議論ができるのかというのはよくわからない部分があるが、特出して出す以上、もう少し、こういう点も必要な議論はしても良い。 地域の方が外に出ていくときに、どういう出方をしているのか。例えば、東武スカイツリーライン沿線の人が浅草を業務地・就業地・買物先ということで使っているということであれば、すごく重要な拠点になる。東武浅草駅の価値に繋がるかもしれない。	⇒戦略3は、戦略4に関連して、<u>今後の歩行者空間拡充に向けた都市空間形成と連動して、引き続き検討していく必要があると思われるものを事務局案として記載</u>しています。なお、観光バスや自転車に関する内容は、区として取組みを拡充していきたい内容でもあるため、記載しています。 今後戦略3のみ特出して議論をする予定はございませんが、ビジョン素案作成に向けて、<u>記載内容に不足等ございましたら、ご意見いただけますと幸いです。</u> ⇒<u>地区内外の人流把握については、まちづくり部会でいただく御意見も踏まえながら、どのような分析手法が可能かどうか、引き続き研究</u>してまいります。
4章 ビジョンの 実現に向けて	主要プロジェクトのロードマップの部分について、短期（2028年）・中期（2031年）・長期（2047年）とあるが、尺の取り方がどうかと思う。	⇒ロードマップの<u>尺の取り方については、浅草のまちにとって節目となる年を重視したい</u>と考えています。それぞれの時期において目指す取組みの方向性は、今後皆様のご意見を伺いながら精査いたします。
5章 主要プロジェ クト	地区特性と課題の部分について。浅草駅は築90年だが、老朽化対策が喫緊という、既に危ない建物のように思われてしまう。ここの部分の表現は修正して欲しい。まちづくりに合わせて更新をしていくということはぜひ考えていきたい。	⇒<u>ご指摘をいただいた点は十分留意</u>いたします。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

2. 第6回基盤整備部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
その他	- 基本理念は企業でも同様だが、簡単に変わるものではないと思っている。新旧ビジョンの関係性や、尊重すべきところというのを、しっかり盛り込んでいく考えがあっても良いのではないかと思い、ここでは過去のビジョンと今回のビジョンがどういった関係なのかという整理があっても良い。行政計画であるため、巻末で良いので、現行ビジョンの総括が付いていても良い。 - ビジョンは実施計画とは異なる。具体的にどうやるのかという部分は、ビジョンの中に書き込むものではなく、それはビジョンを共有したうえで、別途、これを実現する、ある1つの側面として、ある部分の実施計画を作り、これはいつまでに誰が何をするのかというのを整理していく。ビジョンと実施していくうえでの計画は、きちんと切り分けて議論ができると良い。 - これまで部会や委員会が出た意見を総ざらいしてチェックをかけていき、素案にある戦略の部分やプロジェクトの部分を詰めていく段取りというのが必要。ビジョンのここ、絵のこの部分など、どこに反映されているのかを整理することが重要。	⇒現行ビジョンの総括（振り返り）については、位置づけも含め、<u>引き続き精査</u>いたします。 ⇒基盤整備部会では、浅草地区における基盤整備のあり方について、<u>「こうありたい」という将来像を議論していきます。実施計画を詰めていくための具体的な検討は、ビジョン策定後に実施していく予定</u>です。 ⇒<u>9つの戦略のそれぞれに紐づく部会のご意見の集約案を今回改めて整理したものを提示しました。これらの内容を今後精査して、最終的にその結果をビジョンにも落とし込む</u>ように調整していきます。（補足資料①参照）

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

2. 第6回基盤整備部会での意見

(2) 浅草駅周辺都市整備の検討経緯について

- 手順としてもやり方としても良い。しかし、スケジュールが大丈夫か、という部分が心配である。もっと余裕を持ったスケジュールでも良い。
- ビジョンでは、細かい内容（絵として）は描かない。しかし、基盤部会が非公開であるということからすると、この場では、ある程度しっかりとしたものを見ておく必要がある。
- 27～28年前と同じ課題を、同じ状況で抱えていて、ビジョンを今検討している。2047年頃にまた同じような課題があって、同じようにビジョンを検討しているのは、最悪なストーリーである。こうならないようにしたい。
- 条件のパターンを、具体的に絵で当てはめてみるというのは、これしかないという重みよりはもう1段下で、比較検討ができないかというのは大事。例えば、過去の検討では浅草駅のホームが斜めに入っている。どこをどこまで頑張れば、全体形が変わってきて、この拠点が変わってくるのか。ビジョンでも例えば一例として出せる範囲がどこまでなのかというのが、着地点なのだという気がする。
- 平成11年という、インバウンドや防災意識の高まりなど、ずいぶん変わっている部分があると思う。ビジョンになっていく段階では、そういったものが織り込まれるのであろうと思っている。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

■第7回 まちづくり部会

■開催日時

- ・令和7年1月14日（火） 15：00～

■実施内容

- ・下記2点について、意見交換を実施。

⇒ビジョン素案作成に向けて

⇒基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
プロジェクト アイデアの整 理について	■生活目線：快適性を磨き上げる 「地域・民間主体」の取り組みのところで、浅草の街には住民と商人とお客様、大きく3つの分野の方がいて、何かが起こった時にみんなで協力しなければいけないというような状況もあるので、お客さんや商人、住民の方が一体となることができるようなイベントがあれば良いと思った。 - まちづくりの前に「ひとづくり」が一番、頭が痛い問題だと思う。今、商売をしていると人がいないので、手伝いたくてもできない状況がたくさんあるから、その辺が浅草のまちにとっての一番大きな問題だと思う。 - 観光客はすごくトイレに困っている。スペースを作るには、まち側からスペースが出てこないので、区役所等の行政が持っている土地をできるだけ開放していただき、有効に使うことと、トイレの場所がわかるような施策が大切だと思う。 「建物の更新時期におけるまちなみの維持につながる建替えのルールづくり」というのは、割ともう既に建て替わってしまっているので、（誰がやるかも含め）結構早急だと感じた。	⇒まちの機運の高まりも考慮しながら、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。 ⇒具体的な体制づくり・組織組成の可能性を見ながら、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。 ⇒<u>トイレの課題</u>については、<u>今後も区の内部で検討</u>を続けていきます。 ⇒<u>「建替えのルールづくり」は、ビジョンの取り組みの中で、重要</u>であると認識しました。建替えルールづくりに向けては、<u>地域と会話を重ねながら、今後検討</u>していきたいと思います。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
プロジェクト アイデアの整 理について	■観光目線：文化を際立たせる - 浅草六区で、何か「ソフトの誘導規制」みたいなことができないのか。建物のルールだけではなく、そこで興行したいと思う人にメリットがあるような誘導をかけられるものを作りたいと思っている。 「文化を作っていく」ということになる、お金もかかるし時間もかかる。育てていこうという機運が必要。「それは民間に任せておけばいい」ということではなくて、民間に任せると、いくら鬼滅の刃のイベントをやろうが、一過性のもので終わってしまうわけだから、そこには1本大きな柱が必要。 - 区の観光課や旅行会社と提携してガイドをやっているが、まちのガイドだけではなくて、地域のお店の紹介みたいなことを付属してやるというのいいのではないかと思った。 「表舞台を作る」というところで、浅草では劇場は作れないかもしれないが、かつては「時代祭」というのがあった。ある程度表舞台を、道路空間でやるようなこともしていかなないと、場所を見つけることはすごく難しい。 「本物を伝える」というところで、台東区民会館に江戸東京博物館と一緒にサテライトを作る。少し遠いところと連携しながらサテライトを作れば、すごくいいと思うし、いろんな形でできる。	⇒ソフト施策における誘導のあり方については、まちの機運の高まりも考慮しながら、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。 ⇒「人材を育てる」「取り組みを育む」という観点からは、<u>プロジェクトアイデアの精査の中で留意すべき観点</u>として捉えていきたいと思います。 ⇒「ガイドの育成」に関わる内容として、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。 ⇒道路空間で「表舞台を作る」ことは、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。 ⇒まちの機運の高まりも考慮しながら、<u>プロジェクトアイデアへの位置づけの可能性を検討</u>します。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見 (1) ビジョン素案について

項目	いただいた御意見	対応状況
プロジェクト アイデアの整理について	■全般的な観点 - プロジェクトごとに時間軸があるので、それぞれが「何の時期を示しているのか」を明確に書いておいた方が良い。 - 浅草寺と東武浅草駅が軸になっているが、本当にそれだけでいいのか。「全部が軸になる」ような考え方があった方がいいと思う。 - プロジェクトが大体50くらいあるが、「具体的にどういうことをやろうとしているのか」というところの議論もないと、一部だけで終わってしまい、結局その後何かをやる、という流れにつながっていかないと思う。 「手段」を描いている部分と「目的」を書いている部分と言うように、書き方に揺らぎがある。少し中身を深めつつ、書き方をなるべく統一させていくことが大事だと思う。 「文化を際立たせる＝観光目線」なのかは少し気になる。やはり地域目線と観光目線という二つの目線は大事だと思いつつ、「快適性を磨き上げる」という言葉と「文化を際立たせる」という言葉がうまく合っていないという気もした。	⇒今後、プロジェクトアイデアの<u>ロードマップを精査していくにあたり留意</u>します。 ⇒「IV章：回遊を支えるプロジェクト」は、浅草地区内の回遊や地区外との連携を念頭に、浅草寺・東武浅草駅に限らず、<u>浅草のさまざまな場所が「強み」になる旨に留意し整理</u>していきます。 ⇒プロジェクト一覧は、これまでの部会等のご意見を集約した形で提示したものになります。これらのご意見を尊重しつつも、<u>取組みの重要度や実現性等に留意しながら、各部会でのご意見も踏まえて精査</u>を図っていきます。 ⇒ご指摘の点は、<u>「表現の揺らぎ」という点できちんと受け止め、今回たたきとして精査</u>しましたが、引き続き表現の調整を進めていきます。 ⇒今後の精査にあわせ、<u>文言の妥当性についても検討</u>を図っていきます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見

(2) 基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
検討の進め方に関する事項	- ハードで今いろいろ語っているものが、実際空間としてどう立ち上がるかというのを、ぜひまちづくり部会の中でも、描いたパースを持ってきて皆さんでご意見を出し合うみたいなキャッチボールをしていくと、よりクリアになっていくと思う。 - ロードマップは、ハードの部分について、実施時期が後ろの方に来ているものになっている。実際にそれを例えば10年後・20年後に実現しようとなると、5年先とか10年先とかにやるべきミッションが多分出てくると思うので、その辺も少し段階的な施策としてぜひ検討していけると良いかなと思う。	⇒今後の部会では、<u>基盤整備部会での検討結果をまちづくり部会でも共有しながら、議論を拡充</u>させていくようにします。 ⇒プロジェクトアイデアのロードマップを精査していく中で、<u>将来実現したい内容に対し、短期・中期的にどのような取り組みが必要か、についても併せて整理</u>していきます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見

(2) 基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
交通結節点に関する事項	- 駅とまちを繋ぐ以前に、駅と駅を繋げてほしい。「繋げよう」というふうに思っているのか。多分、物理的な問題や工事の問題ではない問題で繋がらないのだと思うし、ずっと同じような話をしている実現せずにいる。「わかりやすいターミナル化が必要」とあるが、ぜひ東京メトロとか都営地下鉄と連携してほしい。「浅草駅はどこか」と聞かれたときに、「どの浅草駅か」「どこに行きたいのか」と聞かないと浅草駅に誘導できないので、ぜひそうしてもらいたい。大きなカバンを持って移動する外国人のためを思ってエレベーター等も作られているが、そこら辺が割と優しくない部分がある。 - 路線バスはどう考えているか。バス停がたくさんあるが、どこから乗ればいいのかわからない。マップが作られたというが、全然わからないし、マップが作られたことも認知していなかった。おそらく、知られていない。	⇒鉄道駅の連携の可能性については、今後の基盤整備部会の中で意見交換をしていきたいと思います。 ⇒今後の部会での議論において、留意すべき観点として捉えていきたいと思います。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見

(2) 基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
回遊に関する事項	- 一番手がつけやすいのは、浅草地域の東側の、水辺も含めた二天門からの動線だと思う。東京スカイツリーもちょうど見える。あのあたりは区の施設や公共施設がすごく多いし、目に見える形で「ここ本当に変わってきたな」と思えるようにしてほしい。昔から隅田川から水を引いて浅草寺の周りに行くといい、みたいなことを言っていたので、そういう趣があって「ここは変わったな」というのは、この東参道が一番やりやすいと思う。 - 浅草はすごく平らなまち。自転車をもう少し活用できないか。船に自転車を積めるようにし、お台場の方まで行って自転車に乗り、またお台場の方から台東区に来てもらって自転車で走っていく、みたいな運用もできると面白い。浅草のまちで自転車っていうと、どうしても駐輪場の問題ばかりが表に出てくるが、もう少し柔らかに自転車を使っていかないと、特に台東区のような狭い区であれば、坂も無いし自転車でも十分回れると思う。 - もう少し広い「下町圏」で捉えた方が良くと思う。リバーウォークを見ていると、浅草から墨田区へ行く人の方が多いと思われる。「下町圏」ということで捉えて、北側にも行ってもらいたいし、そのためには自転車もいいのではないかな。浅草は「浅草紙」があったように、ものすごくエコな街。それを踏まえても、やはり自転車になってくるという気はすごくする。	⇒東参道・二天門通りは、「歴史を紡ぐ東西軸の創出プロジェクト」に位置づけ、<u>基盤整備部会でも議論の大きなテーマの1つ</u>に掲げていきます（資料3：p29参照）。 ⇒自転車の活用のあり方については、<u>今後も区の内</u> <u>部で検討</u>を続けていきます。 ⇒「地区内の回遊・地区外への広がり」の整理の中で、<u>浅草地区内にとどまらない回遊のあり方について整理</u>を行っています（資料3：p12参照）。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

3. 第7回まちづくり部会での意見

(2) 基盤整備に関する議論の状況と今後の検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
東武浅草駅の賑わい機能に関する事項	「住民目線なの、それとも観光目線なの」と言うけど、観光目線であるというところには、そこに「文化性」というものが一つ入ってくると、ある程度いろんなものが緩和していくと思う。 - 浅草では、大箱は全然うまくいかない。その中で全てが完結するような施設ができたなら死活問題かもしれないが、できても結局続かない、というのが近場で商売を営んでいる肌感覚である。歌舞伎座など、何か大きいホールがあってもいいのかなと思う。その方がいわゆる文化的な部分で活性化に繋がるのかなと感じた。	⇒今後の部会での議論において、<u>留意すべき観点として捉えていきたい</u>と思います。 ⇒今後の部会での議論において、<u>留意すべき観点として捉えていきたい</u>と思います。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

■第7回 基盤整備部会

■開催日時

- ・令和7年3月11日（火） 16：00～

■実施内容

- ・下記3点について、意見交換を実施。
 - ⇒回遊性の向上に関する検討について
 - ⇒ビジョン素案作成に向けて
 - ⇒ビジョン策定後の検討体制（案）について

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (1) 回遊性の向上に関する検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
2章 浅草の未来	■回遊の概念図について - できれば「やるべきこと」がまず表現されて、そこからつながるような形で「これが必要だ」とつなげていくべきである。 - ビジョンとやることの繋ぎを明確にすると分かりやすくなる。	⇒ビジョンで位置づける取り組み内容と、回遊の概念図で示す内容とで <u>齟齬が起きないように、今後の表現検討において十分留意</u> いたします。 ⇒（同上）
	■「回遊の拠点」が指す意味について 回遊拠点というキーワードが非常に目立つ。回遊という言葉の意味はわかるが、<u>回遊の拠点とは何かと言われたときに、どう説明するのか。</u>まちに駅から人が吐き出されてくるが、その吐き出された人がいきなりまちの道路・路地に今は直接入って行っている。それが今よりも大量に吐き出されてくるポイントがあったときに、その周辺等で人を一旦溜め込んでまちに出していくような、そんな機能を持たせる拠点なのかと思った。<u>もう少しわかりやすい説明に加え、それに付随する空間のイメージが共有できるような説明があると良い。</u>	⇒「回遊拠点」といった、 <u>理解促進には適切な定義（説明）が不可欠な言葉については、今後のビジョン精査の中で表現に十分留意</u> いたします。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (1) 回遊性の向上に関する検討について

項目	いただいた御意見	対応状況
3章 実現に向けた戦略	■地下接続のあり方について 「都営地下鉄と東京メトロ間の地下での接続」と書かれている箇所は、地下接続されていないから今後検討されるんだろうな、ということを示されたかと思うが、<u>現在、乗換エレベーターも含めて地上までのエレベーターを作っている状況であるため、課題として挙げられてしまうとミスリードになるのではないか</u>と思う。なので、事業者として取り組んでいる内容は、プラスのイメージとなるように地元の方に説明いただきたい。	⇒事業者様にて取り組まれている内容がミスリードにならないよう、 <u>ビジョンや資料中の表現においては十分に留意</u> いたします
	■交通結節点のあり方について <u>バスについては議論が抜け落ちている</u>。観光バス等、日頃起きている問題が色々ある。<u>交通手段間の連携は、この部会でも真剣に議論</u>していかないといけない。	⇒具体的な基盤整備検討に関連させ、 <u>交通手段間の連携のあり方についても、議論を深めていきたい</u> と思います。
その他	■道路研究部会での説明資料の位置づけについて 「回遊性を向上させる」という大目的に付随する形で、<u>小目的の課題</u>（例：〇〇が足りない等）<u>に対して、現状がどうなっていて、事例として日本全国や世界にこういうものがある、と説明された方が資料の意味合いが高まると思う。</u>	⇒ <u>資料の位置づけや意味合いを精査し、ビジョンの参考資料として適切に取りまとめ</u> を行います。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (2) ビジョン素案作成に向けて

項目	いただいた御意見	対応状況
1章 ビジョンに ついて	■ビジョンで大切にしたい視点について 大切にしたい視点として三つの視点を書いていてとても良いと思ったが、その前段で<u>なぜこの三つなのかというところが弱くて唐突感があった</u>ので、この部分の構成の補強は必要である。	⇒今後、この <u>構成の補強について検討</u> いたします。
	■浅草地区の広域的な位置関係について 広域の軸線みたいなものが、浅草には羽田と成田と日光があるが、<u>結構な数の客は上野から入ってくる。少しこの地区を広域の視点で見たときの入口というか、タッチポイントとその動線みたいなものもこの地図上に合わせることも良い</u>。特に浅草に乗り入れているような路線が繋がっていくような、<u>重要な拠点と少し線を繋げてあげると、浅草の求心性みたいなものが表現できる</u>のではないかと考えている。そうすると水上交通が抜けるので、例えば汐留等の周辺は現に線としても有るので、『海辺のところにもアクセスが現状でもできる』、『軸線も既にある』という意味で何か書いておいていただけると良い。	⇒広域的な位置関係の中で、 <u>上野との関係性の表現について、今後検討</u> させていただきます。 ⇒「 <u>浅草の求心性</u> 」の表現について、 <u>いただいた御指摘を踏まえ今後検討</u> させていただきます。 ⇒「 <u>水上交通</u> 」との関係性についての表現を、 <u>今後検討</u> させていただきます。

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (2) ビジョン素案作成に向けて

項目	いただいた御意見	対応状況
3章 実現に向けた戦略	■「戦略」の表現について 3つ目の戦略で『地域交通のあり方検討』というのは、これだけ「検討するだけなのかな」というような捉え方もできるため、例えば何か「利便性を向上する」みたいなことが書ければよいのではないかと思います。	⇒ 9つの戦略のうち、 <u>1つだけ表現のバランスに欠ける点については、今後精査</u> させていただきます。
	■各種取組とイラスト・戦略の関係性について アーケードがあって雨に濡れずに自由に歩けるというのが浅草の特徴だと思っており、それが避難場所にもなるのではないかという話もしたが、それがだんだん老朽化もしてくるので、将来このアーケードをどうするのかというのも考えておいた方がいいのではないかと。今後どうしていくのかというところを考えておくことが必要であれば、このイラストや戦略の中にも入ってくると良い。	⇒ 今後取り組む内容（アイデア）とイラストに <u>描写される内容の関係性については、ビジョンの精査とあわせ十分に検討</u> していきます

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (2) ビジョン素案作成に向けて

項目	いただいた御意見	対応状況
その他 —ビジョン のあり方 について	• ビジョンはビジョンとして、全体的な方向性には特に違和感はないが、次の段階で何をするか、ということは忘れないようにすることが大事である。ビジョンは遠い話なので、これに付随して具体的に何をやるのかを考えると、5年オーダーぐらいで空間を変えていける部分はビジョンの中で特出しする必要があり、それが「プロジェクト」という話につながってくるのだと思う。 • まちづくり部会で挙がってくる意見は、ビジョンを作る段階で受け止めるよりも、次の段階でしっかり受け止めていくということを忘れないようにしていけばよい、という感触を持った。	⇒「次にどうつなげていくべきか」という観点のご指摘のとおりであり、その対応の一環として、今後、<u>基盤整備部会でも「準備会」を設置し、その場で具体的に取り組んでいく内容の解像度を高められる検討を図りたい</u>と思います。 ⇒（同上）

前回委員会以降の各部会等での議論の状況について

4. 第7回基盤整備部会での意見 (3) ビジョン策定後の検討体制（案）について

項目	いただいた御意見	対応状況
検討体制構築の意義について	• もしかしたら早く動かなければいけない案件というの も出てくるかもしれない。例えば何か急に予算がつく とか、そういう事業が立ち上がったとか、そういうこ ともあるかもしれない。タイミングを逃すと大変なこ とになってしまうので、そういうことを即座に動ける ような受け皿みたいなものを先行的に作っておくとい うそのぐらいのイメージかと感じている。 • 新たな回遊拠点の創出プロジェクトというのは、これ はすごく時間がかかるし、ちゃんと恒常的にそれぞ れの絶対譲れない点とか絶対考えなければいけない所は 時間をかけて議論しながら、実際の作り込み・絵を描 いていかなければならないということなので、これを なるべく早期に始めるということかなと思っている。 • 歩きやすい空間の拡充プロジェクトは、例えば歩行や 自転車関係、公共交通関係の社会実験を実施するよう な、そういうものは動かしやすく、目にも見えやすい こともあるので、こういうものの受け皿は絶えず作っ ておいて、出来るタイミングすぐやるということも重 要である。	⇒準備会設立の趣旨としては、ご指摘をいただいた内容のとおりです。今後、喫緊に動き出すと想定される調整事項への対応ができる場づくりとして機能させ、効果的に運用していきます。 ⇒（同上） ⇒（同上）